

2017年2月9日(木)

平成27年度日本NGO連携無償資金協力

「カンボジアの農村地域における地域学習センター普及事業（第3年次）」
タアンコミュンCLC（コミュニティーラーニングセンター）完成式典
在カンボジア日本国大使館 松本泉二等書記官 スピーチ

- 敬虔なる僧侶の皆様、
- シャンティ国際ボランティア会 玉利清隆様
- シェムリアップ州教育・青少年・スポーツ局長 ソイ・テッシャーヴォン様、
- ご列席の皆様

本日は、シャンティ国際ボランティア会 玉利清隆様、シェムリアップ州教育・青少年・スポーツ局長 ソイ・テッシャーヴォン様、その他多くの関係者の方々のご列席のもと、タアンコミュンの新たなコミュニティーラーニングセンターの完成を皆さんとお祝いすることができますことを大変嬉しく思います。本日は在カンボジア日本国大使館を代表しまして、一言ご挨拶させていただきます。

本プロジェクトは、日本政府の日本NGO連携無償資金協力を通じシャンティ国際ボランティア会が実施しているもので、3年の間にシェムリアップ州、バンテアイミアンチェイ州及びコンポントム州にそれぞれ2棟ずつ合計6棟のコミュニティーラーニングセンターが建設されました。これは、カンボジア政府の「教育戦略計画2014－2018」にも沿うものであります。

この度コミュニティーラーニングセンターが建設されたタアンコミュンでは、半数以上の住民が読み書きができないと報告を受けており、そのため役所からの手紙や病院の処方箋が読めないなど生活の中で不自由を感じている方も多いと聞いています。コミュニティーラーニングセンターができたことにより、識字教育やその他様々な文化的活動などができるようになり、皆様の生活環境改善に役立つことを願っております。

しかし、本事業はコミュニティーラーニングセンター建設ですべて完了する訳ではありません。今後、地域住民の皆様の手によって識字教室や様々な活動が持続的に行われることが最も重要なのです。これらの活動が、皆様の生活の向上につながり、周囲の村にも活動が広がっていくことを願っています。そのためにも、このコミュニティーラーニングセンターが日本の人々とカンボジアの人々の友好の証として、末永く利用され、有意義に活用されることを願います。

最後に、本プロジェクトの実施にご尽力いただきましたシェムリアップ州教育局、シャンティ国際ボランティア会、関係者の方々に感謝の意を述べ、私のスピーチを終わらせていただきます。

ありがとうございました。